

第3期川崎区区民会議委員名簿

別紙1

任期：平成22年4月1日から平成24年3月31日まで

50音順、敬称略

氏名	推薦団体・分野など		専門部会			
			幹	高	子	環
あらい けいはち 荒井 敬八	川崎区文化協会	⑥文化又は観光の振興などまちの魅力を発信する分野	○			
いしわた かつろう 石渡 勝朗	川崎区保護司会	②福祉の推進、健康の増進など幸せな暮らしを支える分野			○	
いのくま としお 猪熊 俊夫	かわさきタウンマネージメント機関運営協議会	⑤産業の振興、都市拠点の形成などまちの活力を高める分野		○		
うおつ としおき 魚津 利興	川崎商工会議所	⑧その他、各区の地域特性に応じた課題に関する分野	○			
きじま ちえ 木島 千栄	公募		○			○
しまだ じゅんじ 島田 潤二	川崎区安全・安心まちづくり推進協議会	①防災又は地域交通環境の向上など安全で快適な暮らしを支える分野	○			
すずき しん 鈴木 真	川崎区医師会（社団法人 川崎市医師会）	②福祉の推進、健康の増進など幸せな暮らしを支える分野			○	
すやま よしこ 須山 令子	川崎区民生委員児童委員協議会	③子育て、教育などを育て心をはぐくむ分野		○		
たなべ とみお 田辺 富夫	川崎区まちづくりクラブ	⑦地域住民組織活動、まちづくり活動など市民自治を推進する分野		○		
とみた よりと 富田 順人	社会福祉法人 川崎市川崎区社会福祉協議会	②福祉の推進、健康の増進など幸せな暮らしを支える分野		○		
ながしま とおる 長島 亨	川崎区連合町内会	⑦地域住民組織活動、まちづくり活動など市民自治を推進する分野				○
ぱく よんじゃ 朴 栄子	川崎市ふれあい館（社会福祉法人青丘社）	⑧その他、各区の地域特性に応じた課題に関する分野	○		○	
はた たけじ 秦 琢二	川崎区PTA協議会	③子育て、教育などを育て心をはぐくむ分野				○
はら のりお 原 紀夫	財団法人 川崎市老人クラブ連合会	区長推薦		○		
ふかさわ かおり 深澤 香織	すくすくかわさきっ子	区長推薦			○	
ふじおか れいこ 藤岡 玲子	川崎区市民健康の森 海風の森をMAZUつくる会	④緑の保全、ごみの抑制など自然環境又は生活環境を向上させる分野				○
ほしかわ たかよし 星川 孝宜	公募		○	○		
みやざき とみこ 宮崎 とみ子	公募				○	
よしの ちさお 吉野 智佐雄	特定非営利活動法人 かわさき歴史ガイド協会	⑥文化又は観光の振興などまちの魅力を発信する分野		○		
わしず たかし 鷺頭 多加志	公募					○

※専門部会欄の幹は幹事会、高は高齢者部会、子は子ども部会、環は環境部会

川崎区区民会議参与名簿

五十音順・敬称略

【市議会議員】

氏名	所属会派
いづか まさよし 飯塚 正良	民主党
いわさき よしゆき 岩崎 善幸	公明党
こばやし きみこ 小林 貴美子	公明党
さかもと しげる 坂本 茂	自民党
さの よしあき 佐野 仁昭	共産党
しまざき よしお 嶋崎 嘉夫	自民党
にし じょうじ 西 譲治	民主党
はまだ まさとし 浜田 昌利	公明党
はやし ひろみ 林 浩美	自民党
みやはら はるお 宮原 春夫	共産党

【県議会議員】

氏名	所属会派
すぎやま のぶお 杉山 信雄	自民党

市議会議員10人、県議会議員1人、合計11人

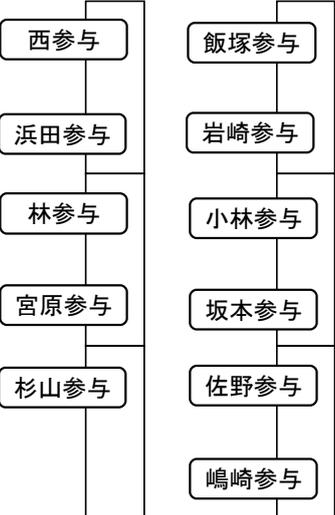
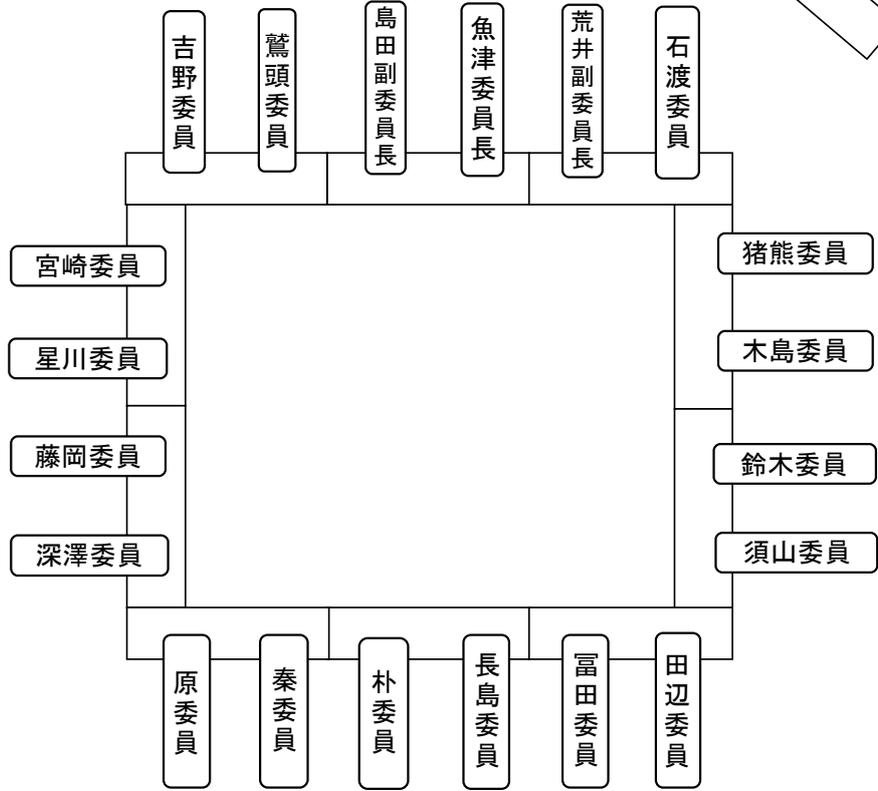
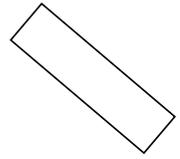
事務局(区役所職員)一覧

役職	氏名
区長	きむら みのる 木村 実
副区長	おさない みゆき 小山内 美幸
区民サービス部長	たけだ よしとも 武田 良知
保健福祉センター所長	ましこ 益子 まり
保健福祉センター副所長	おおば ひろし 大場 博
こども支援室長	やまだ よしや 山田 義弥
大師支所長	くさかべ よしまさ 日下部 佳正
田島支所長	いで ちょうせい 井出 長生
道路公園センター所長	しらいし まさゆき 白石 正幸
企画課長	かねこ ひろみ 金子 浩美

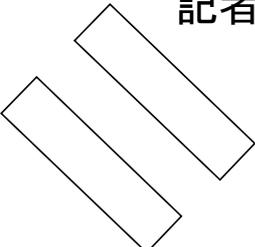
第2回川崎区区民会議(全体会議)座席表

別紙4

速記者席

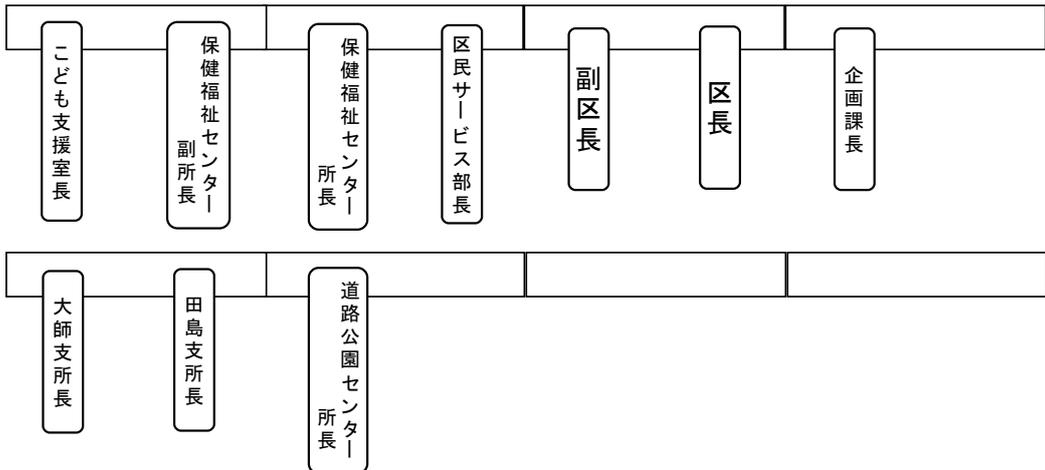


記者席

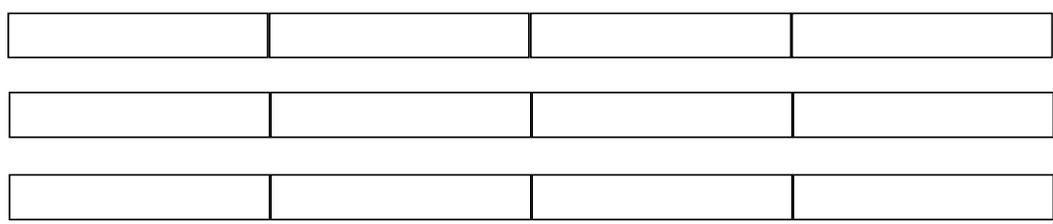


事務局

演台



傍聴席



川崎区区民会議 事務連絡一覧

1 会議公開

- ・この会議は公開で開催しています
 - ・開催することを事前に公表しています
 - ・後日(おおむね1カ月後)、会議録を公開します
-

2 傍聴の注意事項

- ・全体会議は20人、専門部会は10人まで傍聴者が入場する場合があります
 - ・傍聴者は遵守事項を守り、静穏に傍聴してください
-

3 写真撮影

- ・事務局が会議の記録として写真の撮影などを行います
 - ・撮影した写真は、広報物(市政だより、ホームページなど)や報告書などに使用する場合があります
-

4 会議時間

- ・会議時間は2時間程度を予定しています
 - ・次第に沿って、途中で休憩を入れずに進行します
-

5 会議の広報

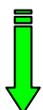
- ・審議の結果や様子を市政だよりやホームページで広報することがあります
-

6 会議録の事前確認

- ・会議録は事務局が摘録を作成し、委員などに内容の確認を公開前にお願いします
- ・発言した趣旨と異なる箇所がありましたら、お知らせください

高齢者部会 審議状況について

第1回
(5月26日)



第2回
(6月23日)



第3回
(7月20日)



第4回
(9月9日)

審議課題の事前調査で出された「高齢者」に関する意見を次の3項目に分類

- ・生きがい、社会貢献・・・元気な高齢者が活躍できる場を増やしたい。高齢者パワーを活用したい。
- ・高齢者に対する環境づくり・・・家に引きこもってしまった人を外に出す仕組みをつくりたい。そして、外出時には障害物や段差のない安全な環境を作りたい。
- ・高齢者に優しいまちづくり・・・シャトルバス導入や路線バス交通網整備などによって、自転車を利用しなくても、簡単に外出できるようにしたい。

審議テーマ・審議課題を決定

【審議テーマ】「高齢者に優しいまちづくり」

【審議課題】「生きがい、社会貢献」「高齢者に対する環境づくり」

- (主な意見)・川崎駅東西地区、中央・田島・大師地区の回遊性確保のためにコミュニティバスが必要ではないか。
- ・コミュニティバスを審議するなら、ニーズの有無について調査が必要ではないか。
 - ・市のシニア施策が市民に知られていないのではないか。
 - ・高齢者が街に出てこない阻害要因がすなわち地域の課題なのではないか。

課題解決策の説明

各委員が事前に提出した課題解決策について、主旨を説明した。

課題解決策について審議

各委員から挙がっている課題解決策を ①経験の集約、情報発信・活用、②地域・世代間交流の活性化、③外出しやすい環境づくりに分類し、各分野に絞って課題解決策を審議した。

①経験の集約、情報発信・活用

- ★活動PRのための「集い」の開催(シルバー人材センターなど働く場の紹介や趣味の発表の場を含む)、
- ★居場所づくり

②地域・世代間交流の活性化

- ★地域の散策(高齢者の健康づくりと地域の伝統や文化を若い人に伝えるため)

③外出しやすい環境づくり

- ★コミュニティバスの導入、★ベンチ・トイレの設置、★高齢者向けのウォーキングマップ作成

高齢者部会 実施方針(案)

【審議テーマ】「高齢者に優しいまちづくり」
 【審議課題】「生きがい、社会貢献」

★課題解決策
 「活動PRのための『集い』の開催」・「居場所づくり」

●課題解決の分野

①経験の集約、情報発信・活用

●取組内容に関する意見

- ・趣味の発表の場や活動をPRする場として一堂に会した「集い」を開催する。
- ・趣味の発表の場を設けることにより、参加しやすいイベントにしたい。
- ・区民会議はあくまでも活動している団体をPRする役割に徹する。
- ・区内では様々な活動が行われており、またそれをまとめた冊子も発行されているにもかかわらず、認知度が低い。PRの手法を十分に審議して、効果の高い集いとなるようにしたい。
- ・シルバー人材センターの方を「集い」に招き、更なる活用につながるようにしたい。働きたい高齢者の支援をしたい。
- ・「集い」で発表する人にとっては、知識や経験を活かすことになるため、生きがいを与えることにもつながる。
- ・「集い」の中で、個々の課題も紹介していくのはどうか。

●懸案事項

- ・生きがいを見つけることに積極的でない人たちに、どのようにアプローチしていけばよいか(PRすべきなのかどうかも含め)。



★課題解決策
 「地域の散策」

●課題解決の分野

②地域・世代間交流の活性化

●取組内容に関する意見

- ・地域の伝統・文化を若い人に伝えるため、地域を散策したい。結果として「健康づくり」にも役立つ。
 - ・散策する場所は、自分の町内を中心に身近なところがよい。
 - ・散策ルートは高齢者が孫と歴史散策できるものがよい。
 - ・若い人に継承していくためには、世代間の交流が必要となる。
 - ・「ハロウィン」や「フェスティバルなかわさき」など、若い人たちが多く参加するイベントを活用することはできないだろうか。
 - ・高齢者が生きがいを持てるような地域にするには、地域・世代間が交流する土壌が大切(例えば、四谷地区では町内会・老人クラブ・学校が連携して公園の清掃などを行っている)。
- 懸案事項
- ・散策するイベントを実施するだけにとどまらず、地域の文化・伝統の継承が継続的に実施されていくような仕組みづくりが必要。



(左) 芭蕉の句碑
 (左下) 川崎河港水門

(右) 教安寺
 (右下) 富士電機ガスタービン



高齢者部会 実施方針(案)

【審議テーマ】「高齢者に優しいまちづくり」
【審議課題】「高齢者に対する環境づくり」

★課題解決策
「コミュニティバスの導入」

- 課題解決の分野
 - ③外出しやすい環境づくり
- 取組内容に関する意見
 - ・富士見地区を中心として、川崎駅周辺の回遊性を向上させたい。
 - ・西口・東口終点のバスをそれぞれ反対側まで延長させてはどうか。
 - ・大きなバスではなく、マイクロバスのような車種でよい。
 - ・コミュニティバス導入について区民アンケートを実施してはどうか（特に小田⇄大師ルート）。
- 懸案事項
 - ・費用が多大にかかるため、長期的に検討しなければならない。
 - ・利用者が見込めないと難しい。



★課題解決策
「ベンチ・トイレの設置」

- 課題解決の分野
 - ③外出しやすい環境づくり
- 取組内容に関する意見
 - ・高齢者は長時間歩き続けることは難しく、尿意が近い人も少なくないため、街中にベンチ・トイレがないと高齢者は外出しづらい。
 - ・バス停などにもベンチを設置してほしい。
 - ・ベンチは商店街が管理し、夜は店の中にする。
 - ・現在設置してある公衆トイレは汚く、和式が多いので使いづらい。
 - ・行政が全て費用を負担するのではなく、商店街等も負担してはどうか。
- 懸案事項
 - ・警察の許可が下りるのは極めて困難。



★課題解決策
「高齢者向けのウォーキングマップ作成」

- 課題解決の分野
 - ③外出しやすい環境づくり
- 取組内容に関する意見
 - ・段差等、高齢者にとって危険な個所を記したマップを作成する。
 - ・高齢者が気軽にウォーキングできるようなルートを作成する。
- 懸案事項
 - ・高齢者に特化しておらず一般向けではあるが、川崎区が発行した「ウォーキングガイドブック」がある。



子ども部会 審議状況について

第1回
(6月1日)

審議課題の事前調査で出された「子ども」に関する意見を基に審議

- 【審議課題候補】
- ・子どもの居場所を確保し、子どもが安全・安心できるまちづくり
 - ・カロリングの普及、強化
 - ・MR(麻しん風しん混合ワクチン)予防接種の接種率の改善。

第2回
(6月25日)

審議テーマ・審議課題を決定

【審議テーマ】「元気な子どもが育つまちづくり」

【審議課題】「地域での子育て、子どもの居場所づくり」、「子どもの健康を考える」、「世代間交流による子育て」

- (主な意見)
- ・MRワクチンやカロリングは課題解決の手段なので、審議課題にはしない。
 - ・子どもだけでなく、地域全体での子育てについて審議したい。
 - ・子育ての輪づくりが必要

第3回
(7月22日)

課題解決策について審議

- (主な意見)
- ・地域の人と子育て中の親が出会う場づくり(場所として町内会館の活用ができるかどうか。活動団体として老人クラブが参加できるかどうか。事業として介護予防事業が活用できるかどうかなど)
 - ・不登校支援、こころの居場所づくり(放課後、公園などで子どもが元気よく遊べる場づくり)
 - ・子どもに対する啓発活動として、予防接種や禁煙などをテーマにした出前講座の実施(標語・作文・ポスターコンクールなどもできれば)
 - ・世代間交流の手段としてカロリングの推進(身体障害児との交流や特養ホームでの交流)

第4回
(9月3日)

課題解決策について審議

前回の部会で取り上げた6項目のうち、「健康に関する出前事業」及び「健康に関するポスターコンクール・標語募集」については統合し、次の5つを課題解決策として審議していくこととした。

- ★「地域の人と子育て中の親が出会う場所づくり」、★「こころの居場所づくり・不登校支援」、★「自由に思いきり遊べる場所づくり」、★「健康推進に関する取組」、★「カロリングの推進」

子ども部会 実施方針(案)

【審議テーマ】

「元気な子どもが育つまちづくり」

【審議課題】

「地域での子育て、子どもの居場所づくり」

「子どもの健康を考える」

「世代間交流による子育て」

★課題解決策

「地域の人と子育て中の親が
出会う場所づくり」

●対応する課題

「地域での子育て、子どもの居場所づくり」

●取組内容に関する意見

- ・町内会館、子育てサロン、地域の縁側、子ども文化センター、老人いこいの家など、様々な場所を活用して地域全体で子育てしてくれる環境を目標とする。
- ・町内会や介護予防事業(健康福祉局)関係者と連携して実施したい。
- ・高齢者が集う場所で子どもを見てもらうことができれば、母親及び高齢者ともにメリットがあるはず。

●懸案事項

- ・出会う場所の確保(例えば、町内会館は制約が多いし、町内会以外の場合は費用が発生する)。
- ・老人いこいの家は騒ぐと怒られてしまう。
- ・受け入れ先にどのように依頼していくのか。

★課題解決策

「こころの居場所づくり・不登校支援」

●対応する課題

「地域での子育て、子どもの居場所づくり」

●取組内容に関する意見

- ・まずは親たちが不登校の実態を知るところから始めた方がよい。
- ・子どもサポート旭町を見学する。
- ・不登校に関する講義を受ける。
- ・1年目はまず上記のを行い、こころの問題・不登校の実情を学んだ上で、2年目に具体的な解決策を見出していきたい。

●懸案事項

- ・こころの問題は非常に難しく、専門的な見識が必要となってくる。

★課題解決策

「自由に思いきり遊べる場所
づくり」

●対応する課題

「地域での子育て、子どもの居場所づくり」

●取組内容に関する意見

- ・何でもできるプレーパークをつくりたい。
- ・遊べる公園(緑地公園)をつくりたい。
- ・体育館の開放について、団体だけでなく一般開放も実施してもらいたい。

●懸案事項

- ・住宅街の公園は用途が決まっている。
- ・プレーパークを作るための敷地がない。

★課題解決策

「健康推進に関する取組」

●対応する課題

「子どもの健康を考える」

●取組内容に関する意見

- ・(MR)ワクチン接種や喫煙の問題などについて、出前講座を実施する。
- ・講師は保健所や校医など、幅広く検討する。
- ・出前講座を受けた生徒を中心に、その後、啓発ポスターや標語の作成コンクールを開催する。
- ・対象は中学生とする。

●懸案事項

- ・医師は通常の診察があるため、医師会が出前講座を引き受けることは困難。

★課題解決策

「世代間が交流する場の拡充」

●対応する課題

「世代間交流による子育て」

●取組内容に関する意見

- ・子どもたちが地域内にある高齢者施設や障害者施設と相互に訪問活動を行い、世代間の交流を深めて子育て環境を向上させたい。
- ・高齢者や障害者と交流する手段として、カローリングを活用する。

●懸案事項

- ・カローリングの活用に、体育指導員との調整が必要となる。

環境部会 審議状況について

第1回
(6月2日)

審議課題の事前調査で出された「環境」に関する意見を次の4項目に分類

- ・臨海部の活用・・・川崎区の特徴である臨海部を上手く活用したい。
- ・地域緑化・・・第2期での活動を更に拡充させていきたい。
- ・イメージアップ・・・環境に関するイメージアップに取り組み、川崎区をイメージアップさせたい。
- ・自転車シェア・・・廃棄される放置自転車を活用すれば、環境だけでなく放置自転車問題にも効果がある。

第2回
(6月28日)

審議テーマ、審議課題(候補)を決定

【審議テーマ】「みんなが住みたい川崎区」

【審議課題(候補)】「地域緑化」、「区民の環境意識向上」、「区のイメージアップ」

(※「自転車シェア」について)

事務局から、市の自転車対策及びレンタサイクル等が市でも検討している旨を説明し、自転車シェアに関する提案は、建設緑政局に意見として情報提供することを確認した。

第3回
(7月21日)

課題解決策について審議

前回審議された審議課題について変更ないことを確認。

課題解決策(候補)として次の3項目を取り上げることとした。

- ・環境意識向上ポスター(ゴーヤーの品評会なども行う。ポスター最優秀作品の児童を“子ども環境大臣”に任命してはどうか)
- ・「区の花」の公募・制定(区のイメージアップ及び区民の環境意識向上のきっかけづくりを目的とする)
- ・落書き消し

第4回
(9月3日)

課題解決策について審議

前回挙げた課題解決策(候補)について内容等を審議した結果、次の2つを課題解決策として取り上げていくこととした。

- ★環境意識向上ポスター事業の継続拡充
- ★「区の花」の制定

環境部会 実施方針(案)

【審議テーマ】「みんなが住みたい川崎区」
 【審議課題】「地域緑化」、「区民の環境意識向上」、「区のイメージアップ」

★課題解決策
 「環境意識向上ポスター作成継続・拡充」

●対応する課題

「地域緑化」「区民の環境意識向上」

●取組内容に関する意見

- ・マリエンで写生大会を開催するなど、臨海部を活用したい。
- ・ポスター作成を夏休みの自由研究に活かせる仕組みにしたい。その場合には、区長賞など表彰の場を設ける。
- ・ポスターの展示場所を拡充する必要がある(現在はアゼリア地下街、環境の広場展、町内会掲示板)。
- ・ポスターを描く年代を広げる(⇒大きく広げる場合には、取組の目的や狙いが変わる)。
- ・参加校を増やすのであればPTAに協力を依頼したい。
- ・ポスター最優秀作品に選ばれた児童を“子ども環境大臣”に任命し、イベント等に出席して環境啓発の一助を担ってもらおう。
- ・“子ども環境大臣”が子ども会議に出席して環境について話してもらおう。
- ・ただポスターを掲示するだけにとどまらず、その次の取組を考えたい。

●懸案事項

- ・“子ども環境大臣”を1名任命した場合、恥ずかしがる児童がいたり、また、イベント出席時に予定が合わない場合も考えられる。そのため“子ども環境大使”など、複数名を任命する形でもよいかもしれない。
- ・“子ども環境大臣(大使)”の活用方法が難しい(例えば、地域の祭りに呼んでもそぐわない)
- ・“子ども環境大臣(大使)”を任命する目的や参加するイベント等を明確にしないと、効果が見込めないのではないか。

★課題解決策
 「『区の花』制定」

●対応する課題

「地域緑化」「区民の環境意識向上」「区のイメージアップ」

●取組内容に関する意見

- ・2012年(平成24年)が区制40周年にあたるので、そのタイミングで区の花を制定したい。
- ・川崎区は緑が少ないため、区の花を制定することによって、区内に緑や花を増やすきっかけとしていきたい。
- ・区の花制定を契機に、地球温暖化にも目を向けてもらいたい。
- ・区の花が浸透していくためには、区民の賛同が必要となる。そのためには、区民アンケートを取ってみてもよい。
- ・候補の花は、広く公募で呼び掛けたい。
- ・制定方法は、区の花制定委員会を立ち上げ、区民全体を巻き込む形がよい。そして、その中に区民会議委員も加わる。
- ・子ども会議とも連携を図ることができればよい。

●懸案事項

- ・川崎区にゆかりのある花があるだろうか。



(左)平成22年度環境意識向上ポスター最優秀作品
 (上)つつじ(川崎市の花)